

LGBTQ だけじゃない！ 体の性の悩みを知る。

ーDSDs:性分化疾患についてー

講師 ヨ ヘイル 氏

ネクス DSD ジャパン主宰。日本性分化疾患患者家族会連絡会代表。臨床心理士／公認心理師。
20年来、国内外のDSDs サポートグループ患者家族会と連携し、DSDsの正確で支持的な情報を発信している。

2019年12月12日(木)

17時30分～18時45分

龍谷大学深草学舎 和顔館B106 教室

京都市伏見区深草塚本町67

京阪電車「龍谷大前深草」徒歩3分

地下鉄「くいな橋」徒歩7分

JR「稻荷」徒歩8分

対象 学生・教職員・一般の方

申し込み不要、参加無料、途中入退室OK
どなた様もご自由にご参加ください。

「女性なら染色体がXX、卵巣や子宮があって当たり前。男性ならXYに決まっている」と思っていないですか？

LGBTQ 等性的マイノリティの人々の性的指向や性自認の多様性の理解は進みつつあります。

ですが、女性・男性の体の性のバリエーションはほとんど知られていません。

DSDs（体の性の様々な発達／性分化疾患）とは、そういう女性・男性の体のバリエーションです。

DSDsはかつて「半陰陽」や「インターセックス」と呼ばれ、今でも「男でも女でもない」「男女の間」「両性具有」などの誤解や偏見があります。

本当は「女性にも様々な体がある・男性にも様々な体がある」という理解が求められるのですが、実際にはどのようなものなのか？一緒に学んでいきませんか？

龍谷大学 全学人権講演会

主催 人権問題研究委員会（事務局：宗教部）

<https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/>

syukyobu@ad.ryukoku.ac.jp 電話 075-645-7880



RYUKOKU
UNIVERSITY